学校番号	119

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳　世界史Ｂ」　（帝国書院）						
副教材等	「ダイアローグ　世界史」　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人類が生み出した文明の経験に学びながら、「なぜ」という問いの視点で自分なりの意見を考え、歴史的に考える力を養い、２１世紀の世界の担い手としての自覚と資質を養います。
・中学校社会科や地理的条件や日本の歴史との関連付けに配慮し、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にかかわる主題を設定し、考察する活動を取り入れ、歴史に対する関心を高めます。
・多くの資料や映像、人物のコラムなどを通して、興味関心をもって世界史を学習します。
・ワークシート、ノート、課題等の提出物の期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察する。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし，文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	世界の歴史についての基本的な事柄を，我が国の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	提出課題 ノート提出 授業態度 グループワーク	定期考査 ノート提出 グループワーク	定期考査 提出課題 ノート提出	定期考査 ノート提出 小テスト
	〔主題学習〕 振り返りシート 映像授業などのワークシート	〔主題学習〕 発表 論述	〔主題学習〕 論述	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	世界史への扉		○	○	○	○	a:それぞれの主題に対し、意欲的に取り組もうとしている。 b:教科書の問いかけに対し、自ら考えつつ、教科書の文章や、グラフ・絵・地図から適切な解答を見つけて発表できる。 c:グラフや絵・地図などから適切な内容を読み取ることができる。 d:それぞれの主題が設定された理由を考え、理解することができる。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査
	Ⅰ部　諸地域世界の形成と交流 序章　人類の出現		○	○	○	○	a:人類の出現と進化の過程、並びに生産経済の開始に伴う大きな変化に関心をもち、追求している。 b:生産経済の成立と、国家組織の成立につながる過程を考察し、表現している。 c:人類の進化や移動を、グラフや地図から読み取ることができる。 d:人類の出現と進化、農耕・牧畜の開始とそれに伴う人類の生活、並びに歴史上の変化について理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	1章　オリエント世界と地中海	・オリエント世界の形成 ・地中海世界の形成とオリエントとの融合 ・ローマと地中海世界の成長 ・ローマ帝国周辺の西アジア	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ 	a:オリエント・地中海両世界とそれをまとめあげたヘレニズムおよびローマについて関心をもち、追及している。 b:オリエント世界と地中海世界の風土・社会・政治・文化・宗教について比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c:地図などの各種資料を活用して、各地域における特色と相違点を把握できる。 d:オリエント・地中海両文明の特色を理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	2章　南アジア世界の形成	・インダス文明と南アジアの宗教の成立	○	○	○	○	a:南アジア世界が多様性に富むことに興味をもち、追及している。 b:南アジア世界の多様性を、民族・風土・宗教などの視点をふまえつつ総合的に考察している。 c:各種資料から諸王朝の変遷や他地域との交流、社会構造を読み取ることができる。 d:南アジア世界の風土・政治・社会・文化について総合的に理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	3章　東南アジア世界の形成	・東南アジアの風土と海の道、諸国の興亡	○	○	○	○	a:東南アジアの複雑多様な地域性に関心をもち、追及している。 b:インドや中国の文化的影響を受けて成立した東南アジア世界の独自性について、具体例をあげて考察できている。 c:インド洋・東アジア海域とつながる港市国家成立の背景を、地図などの各種資料から把握できる。 d:東南アジア世界の風土と位置関係から、南アジア世界や東アジア世界とつながり、その影響を受けつつ独自世界を築いたことを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	4章　東アジアのあけぼの	・中華文明の形成 ・秦漢帝国と東アジア	○	 ○	○ ○	 ○	a:東アジア世界における、多様な古代文明の発生と、その中での日本の位置づけに関心がもてる。 b:古代文明の成立から変動期における、思想・文化について歴史的背景から考察し、表現できる。 c:南北の農耕地域と周辺地域との結びつきを、本文やコラムから理解できる。 d:中国における統一王朝成立に至るまでの政治・経済・文化を総合的に理解するとともに、日本をはじめとする周辺とのつながりを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	5章　中央ユーラシア世界の形成と展開	・中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現 ・古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動	○	 ○	○ ○	 ○	a:遊牧民（移動生活）とオアシス民（定住生活）の生活の違いや、両者の共生関係について関心をもち、追及している。 b:騎馬遊牧民がなぜ交易で活躍できたのか、オアシス民との関係を含めて、その理由を具体的に考察し、表現できる。 c:地図を用いて、遊牧民の移動や東西交易に果たした役割を把握できる。 d:ユーラシア大陸各地の古代帝国と中央ユーラシアの騎馬遊牧民との交流と衝突を把握している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	6章　東アジア世界の変動と再編	・ユーラシアの変動と東アジア世界 ・東アジア諸地域の成長と自立	 ○	○ ○	 ○	○	a:遊牧民の活動と中華王朝の変遷との関連に関心をもち、追及している。 b:遊牧民の活動と中華王朝の変遷が深く関連していることを理解し、考察できている。 c:地図などの各種資料を活用し、東アジア諸地域の動向を理解できる。 d:魏晋南北朝から宋までの中華王朝と遊牧民の活動を関連付けて理解している。中華王朝と周辺諸国の関係を理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	7章　イスラーム世界の形成と拡大	・イスラーム文明の誕生 ・イスラーム世界の拡大	○ ○	○ 	 ○	 ○	a:狭義の宗教には収まらないイスラームの社会性に関心をもてる。 b:イスラームが地域・民族をこえて拡大できた理由とその影響について考察し、表現できる。 c:資料・地図などを活用して、イスラームの特色・広がりを考察できる。 d:イスラーム成立の背景と、地域・民族の枠をこえて拡大する理由について、イスラームの普遍性という観点から理解できている。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	8章　ヨーロッパ世界の形成	・地中海北方へ広がるキリスト教 ・西ヨーロッパの成長と拡大 ・封建社会の解体と王権の伸張	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:ゲルマン人とスラブ人の移動、イスラームの地中海進出、ビザンツ帝国の動向がヨーロッパ世界の形成につながったことに関心をもてる。 b:ヨーロッパにおける地域差を比較し、共通点と相違点を考察できる。 c:地図などの各種資料を活用し、ヨーロッパ世界の形成と変容の様子を把握できる。 d:ヨーロッパ社会の形成を封建社会の成立と変容、教皇権と皇帝権や王権との対決などの観点から総合的に捉えることができている。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	9章　ユーラシア大帝国の出現	・モンゴル世界帝国の出現とユーラシア大交流圏	○	○	○	○	a:ユーラシア大陸の大部分を支配したモンゴル帝国の成長・発展の過程について関心をもち、追及している。 b:モンゴル帝国と交易の活性化の関係について、またモンゴルが南進に手間取った理由について考察し、表現できる。 c:地図を用いて、モンゴルの活動でユーラシア大陸の内陸交易と海上交易が一体化したことを指摘できる。 d:モンゴルによりユーラシア大陸が一体化したことで、ユーラシア規模で人の交流やものの流通が起こったことを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	II部　海洋による世界の一体化 1章　アジア諸地域の栄華と成熟	・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国清とアジア諸国の成熟 ・イスラーム世界の成熟	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:東アジアにおける明・清を中核とした国際関係と、イスラーム諸王朝が各地で独自の文明を成熟させたことに関心をもち、追及している。 b:どちらも他民族国家で、世界帝国だったオスマン帝国と清の外交や内政のあり方を比較考察し、表現できる。 c:地図など各種資料を活用して、各地における特色と相違点を指摘できる。 d:明・清を中核とした国際関係と、ヨーロッパ人のアジア進出、各地で独自の文明を築いたイスラーム諸王朝について理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	2章　大規模な分業体制の成立	・大航海時代～世界の一体化の始まり ・ルネサンスと宗教改革 ・スペインの盛衰とオランダの繁栄	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:大航海・ルネサンス・宗教改革がヨーロッパ世界に変革をもたらし、新たな時代が展開されていったことに関心をもち、追及している。 b:大航海により始まった西欧中心の世界の一体化が、現代の南北問題の起点でもあったという点を考察し、表現できる。 c:主権国家・重商主義などの言葉を概念図などを用いて表現できる。 d:近代世界システムの概念を理解するとともに、ヨーロッパ内部では、主権国家体制が形成されていったことを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	3章　西ヨーロッパの覇権争いと世界的な分業体制の拡大	・17 世紀の危機と西ヨーロッパ諸国の主権強化 ・東ヨーロッパ諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 ・イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	 ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○	a:ヨーロッパ各国それぞれの変革と、主権国家体制について関心をもち、追及している。 b:各国の変革と近代的な国際関係の成立を理解する。また、英仏の覇権争いがなぜ世界各地に及ぶものであったのかを考察し、表現できる。 c:地図や図表を利用して、ヨーロッパの国境の変化や、英仏の世界規模での覇権争いなどを指摘できる。 d:ヨーロッパ各国が状況に応じた変革を行っていく中で、近代的な国際関係が形成されたことを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	4章　環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	・世界で最初の工業化 ・アメリカの独立 ・フランス革命と国民国家 ・ラテンアメリカにおける環大西洋革命	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:産業革命・市民革命の前後で、生活や社会のあり方がどのように変化したか、様々な視点から追及している。 b:産業革命で変化した社会、およびアメリカ独立・フランス革命によって形成された国民国家は、従来とはどのような点で異なるのか説明できる。 c:産業革命の展開や国民意識の広がりを、地図や図表などの各種資料を活用して指摘できる。 d:産業革命による社会の変化の様子や、環大西洋革命によって国民意識が形成されていくことを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	5章　イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	・イギリスの覇権と自由主義 ・ヨーロッパに広がる国民国家 ・アメリカ合衆国の拡大と国家統合	 ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ 	a:イタリア・ドイツなどヨーロッパ各地で国民国家が形成されていった過程に関心がもてる。 b:イタリアとドイツの統一を例に、国民国家の具体的な形成過程を考察し、表現できる。 c:地図や年表などを用いて、国民国家の形成過程を指摘できる。 d:欧米各国が国民国家としての体制を整えていく過程を理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	6章　世界の一体化の進展とアジアの変容	・イスラーム諸国の変容と模索 ・南アジア・東南アジアの植民地化と社会変容 ・東アジア諸国の模索と変容	○ ○	○ ○ 	○ ○ 	 ○	a:アジア各地域の植民地化の過程や改革への模索に関心をもち、追及している。 b:欧米諸国の進出に対するアジア各地の動きを考察し、表現できている。 c:地図などの各種資料を活用し、欧米諸国の進出にさらされたアジア各地域の状況を指摘できる。 d:欧米諸国の進出に対するアジア各地域の外交・内政について理解するとともに、アジア諸国間の国際関係について理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	3部　地球社会の形成の模索 1章　世界の一体化の完成とその影響	・帝国主義と世界分割競争 ・アジア知識人による体制改革の試み	○ 	○ ○	○ ○	 ○	a:帝国主義による世界の一体化が進む中、それにより圧迫されたアジア・アフリカの動きに関心をもち、追及している。 b:植民地支配＝文明化と正当化するヨーロッパの思想を、批判的にとらえることができる。また欧米諸国のアジア進出が、各地域のナショナリズムを高揚させる契機になったことを考察し、表現できる。 c:交通・通信の発達と世界の一体化との関連を、地図などの各種資料を用いて説明できる。 d:欧米諸国が植民地を求めた理由として市場と原料供給地が必要であったこと、植民地をまぬかれた国では欧米諸国の圧力に対する変革が模索されていたことについて理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

	2章　世界大戦の時代	・第一次世界大戦と社会主義革命 ・第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ・大衆社会の到来とファシズムの出現 ・第二次世界大戦とその惨禍	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:二つの世界大戦がこれまでとは違う総力戦であることを理解し、追及している。 b:総力戦を支えた社会体制と、総力戦がもたらした影響について考察し、表現できる。 c:写真や映像などの資料を活用して、総力戦の実態やそれがもたらした社会的影響を例示できる。 d:第一次世界大戦と第二次世界大戦とで、戦勝国の、戦後処理を視野に入いれた終戦までの動向に大きな相違があることを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	3章　東西冷戦から多極的国際社会へ	・アメリカの覇権と冷戦の展開 ・多極化の始まり ・米ソ二極時代の終焉	○ ○	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	a:戦後世界の画期となった動きや事件に興味・関心をもてる。 b:戦後世界における資本主義陣営と社会主義陣営、第三勢力それぞれの動向を考察し、表現できる。 c:戦後世界の画期となった動きや事件について、各種資料を用いて因果関係を指摘できる。 d:戦後世界の画期となった動きや事件について理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト
	4章　相互依存を深める世界	・社会主義圏の解体と国際秩序の変容 ・グローバル化の動きと世界の変化	○ ○	○ 	 ○	 ○	a:地域紛争や新しい形の紛争（テロ）、地域統合の進展、新興国の勃興、地球環境問題などに関心をもち、追及している。 b:地域紛争、地域東方の進展、新興国の動向、地球環境問題などについて考察し、表現できる。 c:新聞の国際面などに報道されている出来事の背景を、教科書の説明を考察しつつ指摘できる。 d:冷戦後も世界には解決すべき様々な問題がある一方で、ヨーロッパやアジアなどでは新たな地域協力の形が模索されていることを理解している。	授業態度 提出課題 ノート提出 定期考査 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。